

## 特別講演 1

### 「肥満症の診断と治療 up to date」

医療法人親友会島原病院 肥満・糖尿病センター長

京都府立医科大学 客員教授

吉田 俊秀 先生

肥満症は、BMI が  $25\text{kg}/\text{m}^2$  以上で肥満に関連する糖尿病・高血圧症や変形性関節症などの健康障害を合併するか、CT による内臓脂肪面積が 100 以上でこれらの合併が予想され、医学的に減量を必要とするものと定義されている。一方、肥満症の治療の原則が食事・運動・行動療法であることは間違いない。

しかし、肥満症治療ガイドラインが出されても治療脱落者が多く、成功例は少ない。筆者は、5,000 人を超える肥満症患者の治療経験から、このガイドラインを守らせ減量を成功させるには、4 つの秘訣（動機付けの徹底、ストレス対策、空腹時対策、肥満遺伝子診断）があることを見出した。本講演ではこれらを紹介し、更には、医師でも行える男性 1,500kcal、女性 1,200kcal 減量食の実際と、抗肥満薬及び体重減少に効果をもつ薬剤（リパーゼ阻害剤、バイエッタ注、SGLT2 阻害剤）の使用方法和、本年 4 月 1 日付けで保険適応になったスリーブ状胃切除術に関して述べる。